



2011年2月期 決算説明会

株式会社 オンワードホールディングス

代表取締役社長

水野 健太郎



目次

2011年2月期 決算概要

連結業績.....	3
連結P/L(実績).....	4
セグメント別の実績	5
連結B/S.....	6
国内事業総括.....	7~8
海外事業総括.....	9

2012年2月期 業績予想

経営における基本施策.....	10
連結業績予想.....	11
東日本大震災の影響について....	12~14
連結P/L(予想).....	15
セグメント別の予想	16
国内事業計画.....	17~18
海外事業計画.....	19
TOPICS.....	20
DATA BOOK	



2011年2月期の連結業績

売上高

2,446億円 (前年比 $\Delta 1.6\%$ 計画比 $+0.5\%$)

営業利益

89億円 (前年比 $+103.7\%$ 計画比 $+35.3\%$)

経常利益

105億円 (前年比 $+71.5\%$ 計画比 $+16.6\%$)

基幹ブランドの順調な売上推移により粗利益率が向上
効率的な経費経営により計画を上回る成果を達成

2011年2月期 連結P/L (実績)

オンワード樫山をはじめ、各子会社が全体的に計画を上回った

(百万円)

	02/11 実績		前年比 (率)		02/11 計画		計画比 (率)	
	02/11 実績	02/10 実績			02/11 計画			
売上高	244,550	248,634	△4,084	△1.6%	243,300	1,250	0.5%	
売上総利益	115,824	114,176	1,648	1.4%	113,600	2,224	2.0%	
(%)	47.4%	45.9%		1.5%	46.7%		0.7%	
営業費	106,896	109,793	△2,897	△2.6%	107,000	△104	△0.1%	
営業利益	8,928	4,383	4,545	103.7%	6,600	2,328	35.3%	
(%)	3.7%	1.8%		1.9%	2.7%		1.0%	
経常利益	10,497	6,120	4,377	71.5%	9,000	1,497	16.6%	
(%)	4.3%	2.5%		1.8%	3.7%		0.6%	
特別利益	486	2,419	△1,933		700	△214		
特別損失	2,431	2,150	281		800	1,631		
当期純利益	2,722	2,187	535	24.5%	3,500	△778	△22.2%	

2011年2月期 セグメント別の実績

単純合算（相殺消去前）

	02/11 実績	02/10 実績	前年比 (%)	02/11 計画	計画比 (%)
(百万円)					
オンワード樫山	154,316	156,830	△1.6%	151,800	1.7%
その他国内	63,616	59,652	6.6%	63,979	△0.6%
国内計	217,932	216,482	0.7%	215,779	1.0%
欧州	32,042	37,143	△13.7%	31,365	2.2%
アジア	6,464	5,411	19.5%	6,380	1.3%
米国	2,994	2,976	0.6%	2,975	0.6%
海外計	41,500	45,530	△8.9%	40,720	1.9%
売上高 合計	259,432	262,012	△1.0%	256,499	1.1%
オンワード樫山	7,401	5,957	24.2%	6,800	8.8%
その他国内	3,720	2,739	35.8%	3,983	△6.6%
国内計	11,121	8,696	27.9%	10,783	3.1%
欧州	-363	-2,067	↗	-516	↗
アジア	411	257	59.9%	574	△28.4%
米国	-147	-430	↗	-184	↗
海外計	-99	-2,240	↗	-126	↗
営業利益 合計	11,022	6,456	70.7%	10,657	3.4%

売上高

オンワード樫山とアイランドの基幹ブランドの売上高が好調に推移し
計画比で、オンワード樫山 +25億円 (+ 1.7%)
アイランド + 3億円 (+ 4.4%)

海外子会社の実績に対する為替影響額は、通期で △59億円
(為替の影響を除いた前年比は、+4.1%)

売上総利益

収益性の高い商品の売上拡大により、粗利益率（連結）は、計画 +0.7%

営業費

営業状況に応じた経費コントロールを継続し、計画を1億円下回る
管理を継続

<主な項目の前年比>

人件費	△9.5億円	△1.6%
広告宣伝費	△1.1億円	△2.0%
賃借料	△2.8億円	△2.1%
減価償却費	△1.4億円	△2.8%

営業利益

オンワード樫山とアイランドが計画を大幅に上回る成果を達成
計画比で、オンワード樫山 +6億円 (+ 8.8%)
アイランド +2億円 (+16.8%)

2011年2月期 連結B/S

(百万円)

	02/11 実績	02/10 実績	増減額
総資産	281,642	292,568	△ 10,926
現金及び預金	30,939	34,330	△ 3,391
受取手形及び売掛金	25,399	25,730	△ 331
たな卸資産	30,356	30,893	△ 537
流動資産	95,544	100,680	△ 5,136
有形固定資産合計	86,622	89,741	△ 3,119
無形固定資産合計	46,745	50,811	△ 4,066
投資その他の資産合計	52,729	51,335	1,394
固定資産	186,097	191,888	△ 5,791
支払手形及び買掛金	32,703	35,961	△ 3,258
短期借入金	30,886	35,697	△ 4,811
長期借入金	22,298	24,053	△ 1,755
負債合計	122,898	134,404	△ 11,506
純資産	158,744	158,164	580

国内

売上高 2,179億円 (前年比 +0.7% 計画比 +1.0%)

オンワード樫山、アイランドの基幹ブランドの売上が好調に推移

営業利益 111億円 (前年比 +27.9% 計画比+3.1%)

オンワード樫山、アイランドにおいて、収益性の高い基幹ブランドのプロパー売上が好調に推移
営業状況に応じた効率的な経費運営

国内 (オンワード樫山以外)

売上高 636億円 (前年比 +6.6%) 営業利益 37億円 (前年比 +35.8%)

オンワード商事

売上高・利益共に前年実績を下回る/SP商品における受注減と中国の生産コストアップが影響

チャコット

利益は前年実績を上回ったが、売上拡大が図れなかった

クリエイティブヨーコ

売上高が前年を下回ったことで、収益性が低下

バスストップ

事業構造の見直しにより、計画通りに収益性を改善

アイランド

売上高・利益共に創業以来の最高結果を更新/既存店は2桁、Eビジネスは200%以上の成長

オンワード樺山

売上高 1,543億円（前年比 $\Delta 1.6\%$ ） 営業利益 74億円（前年比 $+24.2\%$ ）

(+) 基幹ブランド(23区/自由区/ICB)が好調に推移

23区、自由区、ICBの売上が好調に推移し、計画を約3%上回った

(+) エアージャケットの販売好調

ジャケットアイテムで紳士服全体の売上を3%押し上げた

(+) Eビジネスの拡大

売上が計画を2桁上回り、2010年商品の最終消化率が90%以上の好結果となった

(-) 「組曲」復活の遅れ

店舗・商品の改善が遅れ、売上が計画を下回った

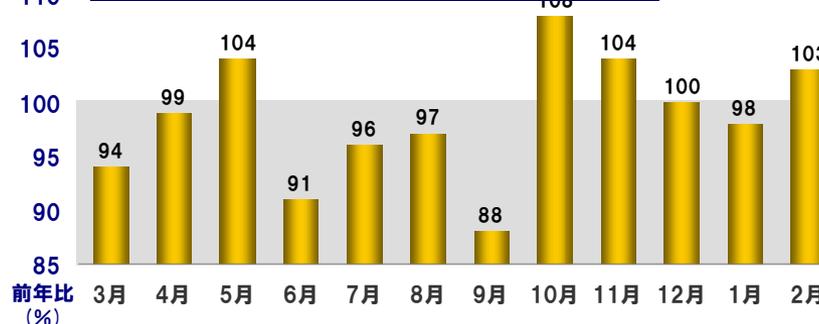
(-) 猛暑の影響による秋物立上りの出遅れ

猛暑の影響により9月売上が計画を大幅に下回り、秋物の立上りが遅れた

基幹ブランドの売上実績(02/11期)

	(百万円)			
	23区	組曲	ICB	自由区
売上実績	24,750	11,360	8,870	8,370
前年比(%)	+7%	$\Delta 8\%$	+5%	+5%

オンワード樺山の月次売上高の推移(02/11期)



海外

売上高 415億円 (前年比 $\Delta 8.9\%$ 計画比 $+1.9\%$)

欧州、アジア、北米のすべてのエリアで計画を上回る

営業利益 $\Delta 1$ 億円 (前年改善額 21億円 計画比 $\Delta 27$ 百万円)

欧州は経営基盤の整備により収益性が改善

アジアは下期において、中国での生産コストが大きく増加したことにより計画を若干下回る

欧州

<JIL SANDER>

生産をジボ・コーにシフトしたことによりシナジー効果が高まり、粗利益率が大きく改善

<JOSEPH>

リニューアル効果で路面店の売上高が前年 $+6\%$ 、卸売は販路を拡大し前年 $+30\%$ 以上の成長

<GIBO'CO>

ジル・サンダー商品の生産の本格稼働と下期の卸売回復により、アパレル・シューズ共に売上高が増加
営業利益は前年実績を大幅にクリア

アジア

- 中国における既存店売場の移設・拡大(レインボー作戦)効果で売上高が前年 $+19.5\%$ 増加
- 中国事業の収益確保においては、下記の2点が課題
 - ① 生産状況の変化への対応(工場キャパの確保/納期/品質)
 - ② 現地の地域特性と商品者ニーズを捉えた商品作り

米国

- 既存店の売上が順調に推移/新規ビジネスの発掘等、成長の余地を残す

グローバル戦略を推進

国内事業の安定的な収益確保と海外事業の積極的な収益拡大

国内

強い事業をより強く、新分野への開発を強化

- 売場の移設・拡大(レインボー作戦)のさらなる推進
- 直営の旗艦路面店の運営強化
- グローバル視点でのEビジネスの積極拡大

海外

収益改善から成長ステージへ

- 欧州事業は各子会社の収益性を向上し、シナジー効果を高めて収益拡大
- アジア事業は積極的な投資、拠点拡大により成長性を加速

売上高

2,448億円 (前年比 +0.1%)

営業利益

102億円 (前年比 +14.2%)

経常利益

116億円 (前年比+10.5%)



国内事業の安定的な収益確保と
海外事業の積極的な収益拡大をめざす

東日本大震災の影響について

オンワード樺山の状況

売上構成の約4割にあたる百貨店・新流通店舗で
売場閉鎖や営業時間短縮が発生

ただし、3月下旬より売上高は復調傾向

<震災後>	関東地区	東北地区	全国合計	<震災前>
3/7日 週	61%	38%	74%	前年100%程度 ↓
14日 週	40%	17%	61%	
21日 週	63%	36%	77%	
28日 週	94%	60%	93%	
3 月 計	65%	44%	78%	
4/1~7	104%	69%	103%	

今期売上計画に関しては、現状の回復状況をふまえて
エリア別/時期別に下記の影響を前提とする

関東地区

計画停電等の状況により、**第1四半期**まで影響が継続

東北地区

閉鎖店舗の復旧状況/原発等の影響をふまえ
今年度末まで影響が継続

その他地域

震災の影響は、**4月以降**は見込まない

前提事項をふまえた 2012年2月期への影響

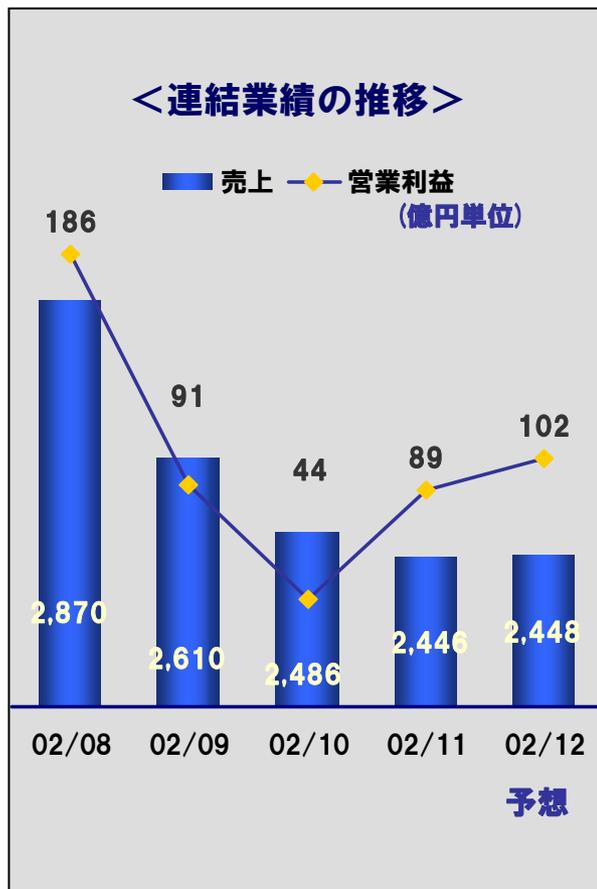
(億円)

	変更前		影響額 金額	変更後	
	金額	前年比 (%)		金額	前年比 (%)
売上高	2,535	3.7%	△87	2,448	0.1%
粗利益	1,213	4.7%	△44	1,169	0.9%
粗利益率	47.9%	0.5%	50.6%	47.8%	0.4%
営業費	1,096	2.5%	△29	1,067	△0.2%
営業利益	117	31.0%	△15	102	14.2%
経常利益	131	24.8%	△15	116	10.5%

震災被害による、商品ロスや事務所・売場の復旧費用等に関しては現状では算出できないが、大きな影響は発生しない前提とする。

2012年2月期 連結P/L (計画)

上期は震災の影響により減速するが、下期は回復し通期で前年を上回る



(百万円)

	上期予想		下期予想		通期予想			
	02/12予想	前年比 (%)	02/12予想	前年比 (%)	02/12予想	02/11実績	増減	前年比 (%)
売上高	112,400	△3.5%	132,400	3.3%	244,800	244,550	250	0.1%
売上総利益	53,200	△2.4%	63,700	3.9%	116,900	115,824	1,076	0.9%
(%)	47.3%	0.5%	48.1%	0.2%	47.8%	47.4%		0.4%
営業費	51,800	△2.2%	54,900	1.7%	106,700	106,896	△196	△0.2%
営業利益	1,400	△10.8%	8,800	19.6%	10,200	8,928	1,272	14.2%
(%)	1.2%	△0.1%	6.6%	0.9%	4.2%	3.7%		0.5%
経常利益	2,200	△16.7%	9,400	19.7%	11,600	10,497	1,103	10.5%
(%)	2.0%	△0.3%	7.1%	1.0%	4.7%	4.3%		0.4%
当期純利益	-500	↘	4,000	157.6%	3,500	2,722	778	28.6%

2012年2月期 セグメント別の予想

単純合算（相殺消去前）

(百万円)

	上期予想		下期予想		通期予想		
	02/12 予想	前年比 (%)	02/12 予想	前年比 (%)	02/12 予想	02/11 実績	前年比 (%)
オンワード樫山	68,200	△6.4%	80,600	△1.0%	148,800	154,316	△3.6%
その他国内	30,836	△2.0%	33,349	3.7%	64,185	63,616	0.9%
国内計	99,036	△5.1%	113,949	0.3%	212,985	217,932	△2.3%
欧州	17,742	19.8%	21,419	24.3%	39,161	32,042	22.2%
アジア	2,824	△0.4%	4,075	12.3%	6,899	6,464	6.7%
米国	1,540	△3.5%	1,602	14.6%	3,142	2,994	4.9%
海外計	22,106	14.9%	27,096	21.7%	49,202	41,500	18.6%
売上高 合計	121,142	△2.0%	141,045	3.8%	262,187	259,432	1.1%
オンワード樫山	1,300	△12.6%	6,900	16.7%	8,200	7,401	10.8%
その他国内	1,750	△8.3%	2,321	28.2%	4,071	3,720	9.4%
国内計	3,050	△10.2%	9,221	19.4%	12,271	11,121	10.3%
欧州	-623	↗	1,155	99.5%	532	-363	↗
アジア	167	△23.4%	355	83.9%	522	411	27.0%
米国	-64	↘	-54	↗	-118	-147	↗
海外計	-520	↗	1,456	↗	936	-99	↗
営業利益 合計	2,530	△3.4%	10,677	27.0%	13,207	11,022	19.8%

売上高

・震災の影響額について

	<上期>	<下期>	<通期>
オンワード樫山	△59億円	△17億円	△76億円
その他国内子会社	△13億円	+2	△11億円
連結合計	△72億円	△15億円	△87億円

※ 下期より回復見込み

・海外事業の売上拡大を計画

売上総利益

・国内事業は、基幹ブランドを中心に
プロパー構成比を高め、利益率を向上

・海外事業は、欧州を中心にシナジー効果をさらに高める

営業費

・震災による影響を経費効率をさらに高めることにより
最小限に留める

(震災の影響に対する削減計画)

	<通期>
オンワード樫山	△24億円
その他国内子会社	△5億円
連結合計	△29億円

営業利益

・国内事業は下期に回復を見込む
・海外事業は収益拡大を図り、欧州事業は
通期で黒字化を計画

国内

売上高 2,130億円 (前年比 Δ 2.3%)

国内は震災の影響額を Δ 87億円見込む
ブランド価値を高め、基幹ブランドを中心に下期は回復を目指す

営業利益 123億円 (前年比 +10.3%)

収益性の高いブランド・アイテムに経営資源を集中することで、収益率の向上を図る

国内 (オンワード樫山以外)

売上高 642億円 (前年比 +0.9%) 営業利益 41億円 (前年比 +9.4%)

オンワード商事 オンワード樫山との連携により、中国および東南アジアの生産基盤を強化し、粗利益率の改善を図る

チャコット 3大ジャンル（バレエ・ボールルームダンス・フィットネス）の商品開発を強化し売上を拡大する

クリエイティブヨーコ ペットビジネスのトータルショップ化を推進し、直営店の差別化を図る

バスストップ 従来のセレクト型からライフスタイル提案型へ移行し、差別化されたセレクトショップを確立する

アイランド 新たな大型ショップの確立や既存店の強化により、更なる売上拡大を目指す

オンワード樺山

売上高 1,488億円（前年比 △3.6%） 営業利益 82億円（前年比 +10.8%）

● **ロイヤリティの大幅減額による粗利益率の向上**

カルバンクライン、ポールスミス、ドーリーガールbyアナスイ等のライセンス契約更新に伴い製造経費が年間 約6億円 減額の見込み

● **百貨/新流通 売場の新規/リニューアル/中止（レインボー作戦）**

（+）新規+リニューアル 203店舗 ※ JR大阪三越伊勢丹(12店舗)・博多阪急(16店舗)含む

（-）中止 137店舗 ※ 廃止ブランドの売場(47店舗)・閉店百貨店の売場(23店舗) 含む

● **Eビジネスの更なる拡大**

オンワードクローゼットにおいて、年間売上高 15億円、新規会員10万人獲得を計画
中国におけるEC事業をスタート予定

● **23区直営店が銀座にオープン**

アジアへの発信店舗として4/2にオープン / 初年度売上高は3億円を計画

● **「組曲」の復活**

2011年3月に、西武池袋店に坪数 30坪の旗艦店をオープン
下期にテレビCM・WEB等での広告宣伝キャンペーンを実施予定

震災による影響前の計画になります

百貨店・新流通の売上計画

	売上		売場面積	
	百万円	前年比 (%)	m ²	前年比 (%)
百貨店	121,673	2.2%	164,680	1.6%
新流通	27,450	1.1%	86,304	0.9%

基幹ブランド別 売上計画

	(百万円)			
	23区	組曲	ICB	自由区
売上予想	25,950	11,640	9,180	8,850
前年比 (%)	5%	2%	3%	6%

海外

売上高 492億円 (前年比 +18.6%)

展開ブランドの増加や販路の拡大により、欧州および中国で2桁の売上増を計画

営業利益 9億円 (前年改善額 10億円)

欧州はブランド価値の向上・シナジー効果を高め、中国はブランドの充実と拠点の拡大により収益性を向上

欧州

<JIL SANDER>

- ・ ジル・サンダー ネイビーの販売開始による売上拡大
- ・ 店舗開発・商品開発の強化をさらに推進
- ・ ジボ・コーの生産プラットフォームをさらに活用し収益性を向上

<JOSEPH>

- ・ 旗艦店舗と既存店舗の運営力を強化し売上を拡大
- ・ 広告宣伝力を高め、世界へのブランドイメージ発信力を強化

<GIBO'CO>

- ・ コンテンポラリーマーケットへの事業拡大（ジル・サンダー ネイビー等）
- ・ グループの生産比率を向上し、シナジー効果をさらに高める
- ・ 新規ライセンス契約による売上拡大

アジア

- ・ 中国における展開ブランドの拡大（「自由区」等の販売を開始）
- ・ 中国にてEビジネスをスタート（2011年秋冬予定）
- ・ 上海近郊の優良工場と資本提携し、オンワード専用ラインを確立
→ 日本向け商材の生産キャパ確保/アジアでのQR体制づくり

米国

エール大学との協業によるJ.PRESSブランドの刷新 / 新進デザイナーの発掘等、新規ビジネスの検討

アジアに向けた旗艦店 “23区 GINZA” オープン

銀座中央通り沿いに“23区 GINZA”がオープンしました。

宿泊施設のないホテルをイメージに、大人の女性が心地よく過ごすための空間とサービスを提供。

1F（60坪）、2F（120坪）のスペースを活かした開放感のある設計となっています。

2フロアからなる広い店内には、23区オリジナルの洋服・雑貨・ドレスをはじめ、銀座店限定のコレクションとして、インポートのセレクト雑貨やホームウェアの新ライン“HOTEL TWENTY THREE”を展開します。

また、ブランド初となる素材やディテールを自分仕様にカスタマイズできる、スーツ・シャツ・ベルトのパターンオーダーサービスも提供していきます。



23区 GINZA

CHUO-KU GINZA 8-8-5
OPEN 11:00
CLOSE 20:00*

*変更の可能性があるため、詳しくは
ショップへお問い合わせください。



DATA BOOK

主要連結子会社の業績・設備投資・減価償却

<主要連結子会社の実績・計画>

(百万円)

主要連結子会社	事業概要	売上						営業利益						
		02/11 通期実績			02/12 通期予想			02/11 通期実績			02/12 通期予想			
		金額	増減額	増減比	金額	増減額	増減比	金額	増減額	増減比	金額	増減額	増減比	
国内	オンワードHD オンワード樺山	グループの中核会社 紳士服・婦人服・子供服・きもの等の製造販売	154,316	△2,514	△1.6%	148,800	△5,516	△3.6%	7,401	1,444	24.2%	8,200	799	10.8%
	オンワード商事	ユニフォーム・SP商品等の製造販売	14,868	△1,156	△7.2%	14,700	△168	△1.1%	932	△305	△24.7%	977	45	4.8%
	チャコット	舞台・演劇・パレエ用品等の製造販売	10,048	△2	±0	10,071	23	0.2%	619	64	11.5%	626	7	1.1%
	クリエイティブヨーコ	ペット関連用品や和み系雑貨の製造販売	7,983	△351	△4.2%	8,059	76	1.0%	708	△46	△6.1%	831	123	17.4%
	アイランド	婦人服ブランド「グレースコンチネタル」 の製造販売	7,305	5,633	336.9%	7,450	145	2.0%	1,476	1,218	472.1%	1,565	89	6.0%
	アクロストラנסポート	衣料品配送を含むファッション物流事業の運営	11,126	△13	△0.1%	11,085	△41	△0.4%	80	△203	△71.7%	74	△6	△7.5%
	オンワード クリエイティブセンター	商業施設等の企画・設計・施行	3,150	512	19.4%	3,636	486	15.4%	△43	57	→	26	69	→
海外	オンワード リゾートグループ	リゾート施設・ゴルフ場等の運営管理	3,553	86	2.5%	3,668	115	3.2%	△3	182	→	39	42	→
	ジョゼフグループ	イギリスのブランド「JOSEPH」の製造販売 セレクトショップ事業の運営	9,011	△267	△2.9%	10,142	1,131	12.6%	△352	394	→	△106	246	→
	ジボ・コーグループ	欧米のデザイナーズブランドの衣料品・雑貨等 の製造・卸売・OEM等	12,454	△1,438	△10.4%	15,600	3,146	25.3%	585	69	13.4%	870	285	48.7%
	ジルサンダーグループ	ドイツのブランド「JIL SANDER」の製造販売	9,399	△3,177	△25.3%	12,242	2,843	30.2%	△664	1,246	→	△337	327	→

<設備投資>

(百万円)

	02/06	02/07	02/08	02/09	02/10	02/11	02/12 予想
連結	8,053	10,506	9,566	4,178	5,794	5,405	6,200
HD+樺山	7,238	8,046	5,255	2,470	3,273	3,232	3,200

<減価償却>

(百万円)

	02/06	02/07	02/08	02/09	02/10	02/11	02/12 予想
連結	7,053	6,697	7,340	5,986	5,747	5,642	6,000
HD+樺山	5,542	4,890	5,109	4,639	3,764	3,590	3,700

<オンワード樫山> 品種/チャネル別 実績・予想

震災による影響前の計画になります

<品種別>

	02/11期 上期実績			02/11期 下期実績			02/11期 通期実績			02/12期 通期予想		
	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比
紳士服	16,602	17,714	△6.3%	20,226	20,334	△0.5%	36,828	38,048	△3.2%	37,029	36,828	0.5%
婦人服	49,891	50,846	△1.9%	54,699	54,195	0.9%	104,590	105,041	△0.4%	107,110	104,590	2.4%
子供服	2,863	2,984	△4.1%	3,554	3,521	0.9%	6,417	6,505	△1.4%	6,461	6,417	0.7%
和装	1,096	1,366	△19.8%	910	1,070	△15.0%	2,006	2,436	△17.7%	1,818	2,006	△9.4%
その他	2,414	2,568	△6.0%	2,061	2,232	△7.7%	4,475	4,800	△6.8%	3,982	4,475	△11.0%
合計	72,866	75,478	△3.5%	81,450	81,352	0.1%	154,316	156,830	△1.6%	156,400	154,316	1.4%

<チャネル別>

	02/11期 上期実績			02/11期 下期実績			02/11期 通期実績			02/12期 通期予想		
	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比
百貨店	55,875	56,715	△1.5%	63,176	62,948	0.4%	119,051	119,663	△0.5%	121,673	119,051	2.2%
新流通	12,750	13,800	△7.6%	14,410	14,418	△0.1%	27,160	28,218	△3.7%	27,450	27,160	1.1%
専門店	2,025	2,349	△13.8%	2,036	2,111	△3.6%	4,061	4,460	△8.9%	4,140	4,061	1.9%
チェーンストア	530	645	△17.8%	543	602	△9.8%	1,073	1,247	△14.0%	680	1,073	△36.6%
その他	1,686	1,969	△14.4%	1,285	1,273	0.9%	2,971	3,242	△8.4%	2,457	2,971	△17.3%
合計	72,866	75,478	△3.5%	81,450	81,352	0.1%	154,316	156,830	△1.6%	156,400	154,316	1.4%

<百貨店・新流通の売場面積の推移>

		02/06		02/07		02/08		02/09		02/10		02/11		02/12予想	
		売上高(百万円)	増減比	売上高(百万円)	増減比	売上高(百万円)	増減比	売上高(百万円)	増減比	売上高(百万円)	増減比	売上高(百万円)	増減比	売上高(百万円)	増減比
百貨店	売上高(百万円)	139,376	4.0%	148,911	6.8%	148,608	△0.2%	135,031	△9.1%	119,663	△11.4%	119,051	△0.5%	121,673	2.2%
	売場面積(m ²)	174,310	△0.4%	182,480	4.7%	175,200	△4.0%	173,500	△1.0%	165,800	△4.4%	162,105	△2.2%	164,680	1.6%
新流通	売上高(百万円)	30,064	2.5%	32,138	6.9%	33,263	3.5%	32,066	△3.6%	28,218	△12.0%	27,160	△3.7%	27,450	1.1%
	売場面積(m ²)	92,190	5.4%	95,830	3.9%	93,060	△2.9%	92,400	△0.7%	86,900	△6.0%	85,567	△1.5%	86,304	0.9%

ONWARD

ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を
負いませんのでご承知おきください。